

今後の予定

◆社会実験の現状

【経過】

公園の施設等の管理が行き届かないなど、公園のあり方について課題となっていたところ、地元のアイデアによる公園をサバイバルゲームのフィールドにすることで、新たな利活用方法や民間活力導入の可能性を検討する社会実験を実施しています。

【実験運営者】

瑞風とまちづくりの会

【期待されるもの・メリット】

- ・公園が新たな地域拠点に（新たな拠点の発掘）
- ・全国へのPRで県内外から集客（観光振興への効果）
- ・地域の賑わい・活性化（多様な交流）
- ・公園利用の増加（利用環境の向上）
- ・民間活力の導入（効率的な維持管理）

【実験期間】

令和3年11月28日から令和6年3月31日（約2年半）

◆今後の予定

- ・公園協議会では、下記のことに取り組み、検討を進めていきます。

